

取扱説明書

耐火マルチボックス IRMB

お客様へ

- 施工は必ず専門業者へ依頼してください。
- 本取扱説明書は、大切に保管しておいてください。
- ご不明な点は、巻末に記載されている営業窓口へお問い合わせください。

施工業者様へ

- 施工前に本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 本取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

1.はじめにお読みください(正しく安全に使用いただくために)

本製品は、防火区画貫通部耐火措置工法部材です。それ以外の用途には使用しないでください。

■表示内容を見逃して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分しています。

⚠ 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性があります。
⚠ 注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性があります。

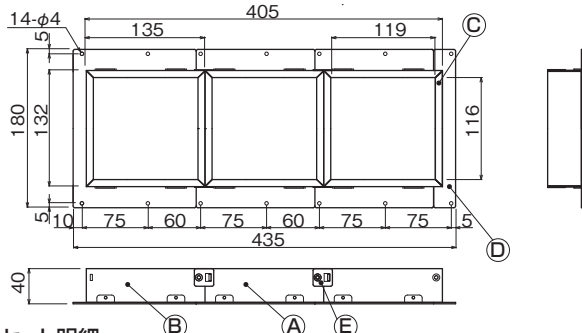
■お使いになる人や他の人へ危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

⚠ 警告	国土交通大臣認定書の仕様にに基づき正しく施工してください。 正しい施工を行わないと火災時に延焼のおそれがあります。 国土交通大臣認定書については、右記のQRを確認してください。  国土交通大臣認定書
⚠ 注意	作業時は、作業用手袋などを着用してください。

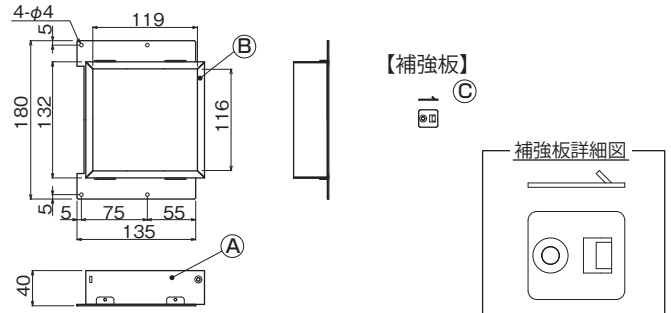
お願い	※下記が守られなかった場合、製品の想定する機能・性能が発揮されない可能性があります。 ● 右記のQRより適用範囲概要を確認してください。 ● 認定書に記載の開口穴寸法、占積率を共に満たすことを確認してください。 ● 厚さ100mm以上の中空壁・ALC壁・RC壁および厚さ42mm以上の片壁に適用されます。 ● 屋外で使用する場合は、紫外線、雨水などが当たらないように処置を施してください。 ● 区画貫通部に配管などが動かないように近傍でしっかりと固定してください。 不十分な場合はパテにすき間が生じたり、パテが落下する可能性があります耐火性能が発揮できません。 ● 架橋ポリエチレン管およびポリブテン管に使用する場合は、管と熱膨張性耐熱シール材(MBパテ)が直接接触しないように被覆してください。 ● 区画の壁の材質によっては、パテに含まれる油分が染み出すおそれがありますので注意してください。  適用範囲概要
-----	--

2.製品仕様

IRMB-3 耐火マルチボックス 3個用



IRMB-T 耐火マルチボックス 追加用



■ セット明細

部品名	数量	部品名	数量
金具本体		皿頭小ネジ(M4×10)	6
(A) 本体 A	2	コンクリートビス(M4×38)	14
(B) 本体 A (エンド部分)	1	MBパテ(40×65×135)	6
(C) 本体 B	3	取扱説明書	1
(D) スパースー	1	国土交通大臣認定品表示シール	1
(E) 補強板 (1組=2枚)	2		

■ セット明細

部品名	数量	部品名	数量
金具本体		皿頭小ネジ(M4×10)	2
(A) 本体 A	1	コンクリートビス(M4×38)	4
(B) 本体 B	1	MBパテ(40×65×135)	2
(C) 補強板 (1組=2枚)	1	連結手順書	1

3. 施工手順

1. 配管貫通部の設置

耐火マルチボックスは、「最大開口に対する配管収納可能断面積(表2)」と「1つの金具に対する配管収納可能断面積(表3)」のいずれも満足している必要があります。

配管サイズおよび占積率(最大開口に対する配管収納可能断面積と1つの金具に対する配管収納可能断面積)を考慮して貫通開口部を設けます。(表1～3参照)

中空壁、片壁の場合は、開口補強を開口に沿うように設けます。

表1. 金具数と開口寸法

金具連結数 (個用)	最大開口長さ(mm)	
	中空壁・ALC・RC壁	片壁
1	145	156
2	280	291
3	415	426
4	550	561
5	685	696
6	820	831
7	955	認定外
8	1090	認定外

表2. 金具数と収納配管目安表

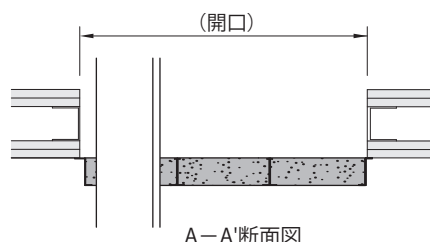
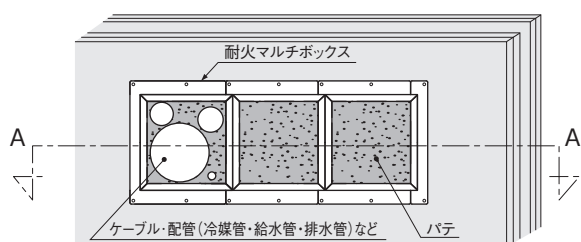
金具連結数 (個用)	最大開口に対する配管収納可能断面積(mm ²)	
	中空壁・ALC・RC壁	片壁
1	6312.2※	7036.8※
2	12189.1	13126.4
3	18066.1	19216.0
4	23943.0	25305.5
5	29819.9	31395.1
6	35696.8	37484.7
7	41573.8	認定外
8	47450.7	認定外

表3. 1つの金具に対する収納配管目安表

配管種類	1つの金具に対する配管収納可能断面積(mm ²)	
	中空壁・ALC・RC壁	片壁
冷媒管・給水管・排水管	7469.2※	7469.2※
ケーブル・電線管	3821.0	3821.0
排水管のみ	4737.4	認定外

※ 1個用の開口は、6312.2mm²(中空壁、ALC・RC壁)、7036.8mm²(片壁)の配管しか収納することができません。

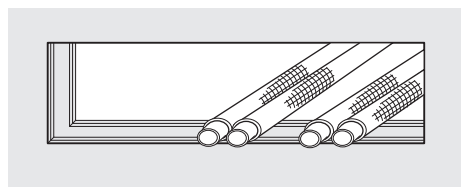
また、無配管の金具を設けることで、将来配管用のスペースを確保することが可能です。



【後付け施工(①*②*)の場合】*P3の「様々な取り付け方法」を参照してください。

2. 配管・ケーブル(電線)・電線管の設置

配管・ケーブル(電線)・電線管を設置して支持固定をしてください。



3. 金具の取り付け

配管・ケーブル(電線)・電線管を金具の中に入れ込んで、同梱しているコンクリートビスを使用して、金具を壁面に固定してください。

<中空壁、ALC・RCの場合>

同梱のビスまたは、お手持ちのM4×38mm以上の長さのコーススレッドなどを使用いただいても、認定上問題はございません。

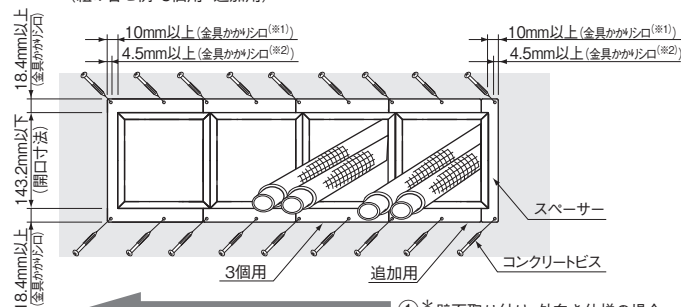
(※1)両端共に10mm以上、金具が壁にかかるようにしてください。

<片壁の場合>

M4×57mm以上の長さのコーススレッドなどを使用してください。

(※2)両端共に4.5mm以上、金具が壁にかかるようにしてください。

(組み合わせ例: 3個用+追加用)



①*壁面取り付け・外向き仕様の場合

②*壁面取り付け・内向き仕様の場合

※矢印の順に壁に取り付けると、容易に金具の追加ができます。

※金具を連結する場合は必ず「追加用(IRMB-T)」を使用してください。

例: ボックスを6個分使用する場合は、「3個用(IRMB-3)」…1セットと、「追加用(IRMB-T)」…3セットを組み合わせ使用してください。

【先付け施工(①*②*③*④*)の場合】

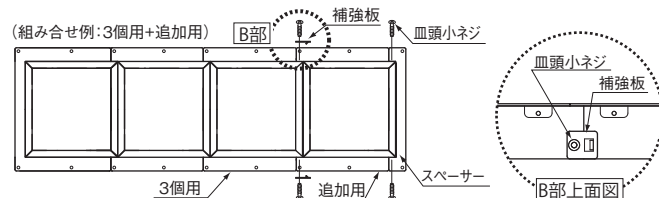
*P3の「様々な取付方法」を参照してください。

2. 金具の取り付け

(1) すべての金具を組み合わせてください。

※金具を連結する場合は必ず「追加用(IRMB-T)」を使用してください。

例: ボックスを6個分使用する場合は、「3個用(IRMB-3)」…1セットと、「追加用(IRMB-T)」…3セットを組み合わせ使用してください。



※すべての金具を組み合わせた状態で施工してください。(施工後は血頭小ネジが止められなくなる場合があります。)

※補強板は、必要に応じて使用してください。

(2) 同梱しているコンクリートビスを使用して、金具を壁面に固定してください。

<中空壁、ALC・RCの場合>

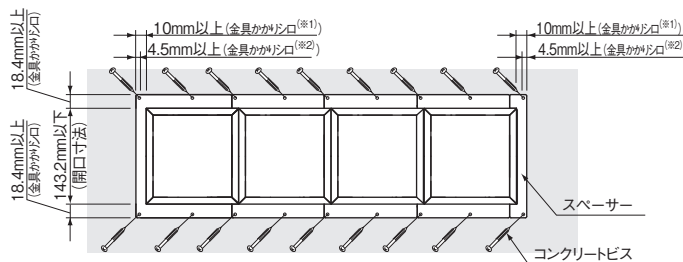
同梱のビスまたは、お手持ちのM4×38mm以上の長さのコーススレッドなどを使用いただいても、認定上問題はございません。

(※1)両端共に10mm以上、金具が壁にかかるようにしてください。

<片壁の場合>

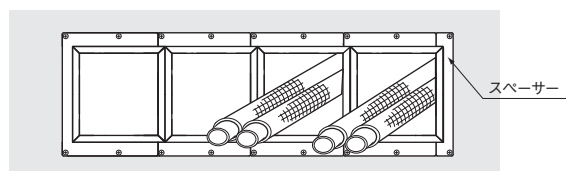
M4×57mm以上の長さのコーススレッドなどを使用してください。

(※2)両端共に4.5mm以上、金具が壁にかかるようにしてください。



3. 配管・ケーブル(電線)・電線管の設置

配管・ケーブル(電線)・電線管を設置して支持固定をしてください。

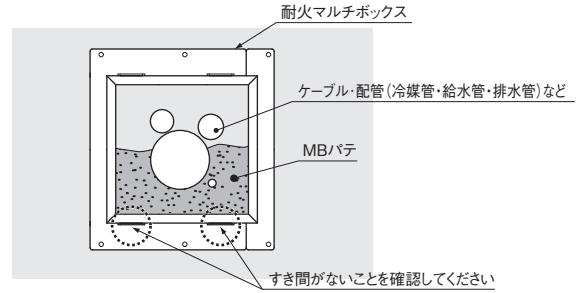


4. 熱膨張性耐熱シール材 MBパテの充てん・仕上げ

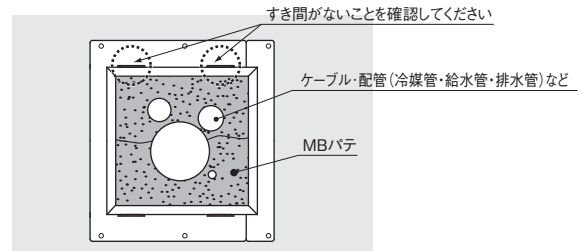
熱膨張性耐熱シール材 MBパテ(以下MBパテとする)を金具の内部に密に充てんし、すき間がなく面一であることを確認し、脱落しないように仕上げてください。

(1) 袋から取り出したMBパテを金具の下部から積み上げる。

- ⑧ 配管サイズが小さい場合、充てん厚さが40mm以上になるとMBパテが不足することがありますので、均一に充てんしてください。

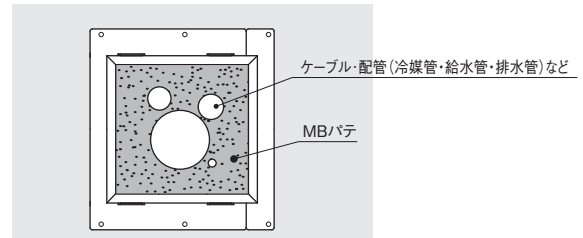


(2) もう一つのMBパテを金具の上部に積み上げる。積み上げにくい場合は、何回かに分け、MBパテを積み上げてください。また、複数配管の場合は、配管同士の間に十分にMBパテを詰め込んでください。



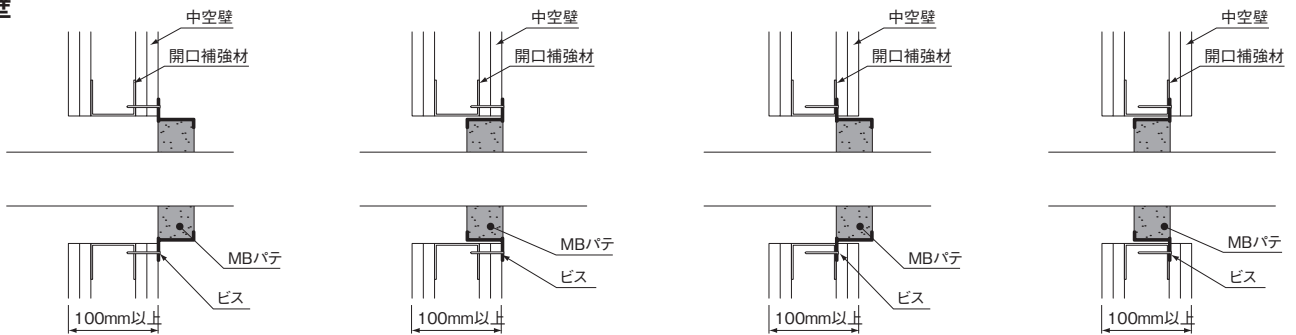
(3) 残ったMBパテでMBパテ同士の合わせ目、金具とのすき間を仕上げて完成です。

- ⑨ 配管の周囲、金具の上下部にすき間がないことを確認してください。



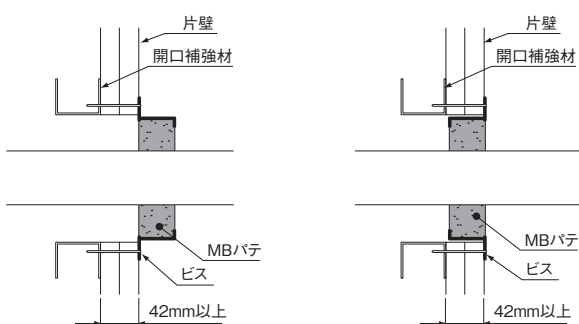
* 様々な取り付け方法(中空壁、ALC・RC壁、片壁)

中空壁



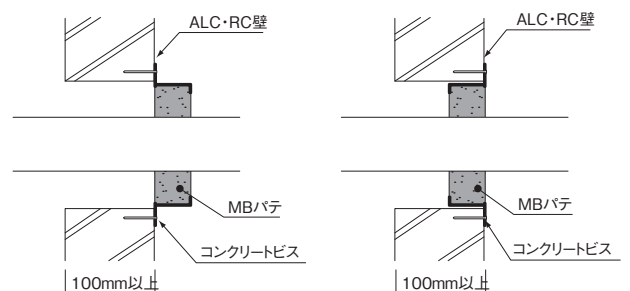
① 壁面取り付け・外向き仕様 ② 壁面取り付け・内向き仕様 ③ 壁内取り付け・外向き仕様 ④ 壁内取り付け・内向き仕様

片壁



① 壁面取り付け・外向き仕様 ② 壁面取り付け・内向き仕様

ALC・RC壁



① 壁面取り付け・外向き仕様 ② 壁面取り付け・内向き仕様

ケーブル防災設備協議会 工法表示ラベルのご請求

工法表示ラベルをご要望の際は、因幡電工Webサイトよりご請求お願いいたします。

耐火マルチボックスは、ケーブル防災設備協議会の登録工法です。国土交通大臣認定番号通りに正しく施工された事を表示するために「工法表示ラベル」を発行しています。

ケーブルの防火区画貫通処理にご使用の際、工法表示が必要な場合に発行いたします。ただし、ケーブルと配管類の混在の場合は対象外となります。ケーブル貫通専用として使用されているかをご確認のうえ、ご請求ください。

施工会社は、正しく施工したことを確認し、「施工会社名」、「講習会修了番号」(ケーブル防災設備協議会主催 ケーブル防火区画貫通措置に関する講習会 受講修了者の場合)施工年月」をボールペンで記入して見やすい場所に貼り付けてください。

工法表示ラベルは、1 貫通穴に 1 枚です。

(注) ケーブル以外の配管貫通部には、工法表示ラベルを貼らないでください。

認定外の施工については、ラベルの発行をいたしません。

後日お電話にて施工箇所、送り先などの確認をさせて頂くことがあります。

<https://www.inaba-denko.com/ja/taflabel/cable>

因幡電工 工法表示ラベル



【ご請求から発送までの日数】

平日：ご請求当日 15:00 までの受付で 3 営業日

土日・祝日・休業日：4 営業日

※発送日数は目安のため、お早目にご請求ください

※配送状況により時間がかかる場合がございます

<https://www.inaba-denko.com>



因幡電工カンパニー
因幡電機産業株式会社

INABA DENKO
Webサイト



INABA DENKO
営業所一覧

